

3月講演会

下記のとおり、本学会主催の講演会を開催いたします。
(事前申し込み不要。会員外の方々の来聴も歓迎いたします。)

「元結 — 諷諭の詩人」

日時：2023年3月11日(土)

16:00～17:00

会場：斯文会館会議室(湯島聖堂内)

御茶の水駅下車徒歩2分(JR・地下鉄丸の内線・千代田線)

講師：加藤 敏 氏(千葉大学名誉教授)

◎終了後に動画配信を行う予定です。なお、開催形態に変更等が生じる場合がありますので、詳細につきましては、事前に本学会ホームページにて御確認ください。

【講演内容紹介】

盛唐末期は、唐王朝の繁栄が極に達して社会の矛盾が露出し、王朝が崩壊に瀕した安史の乱を経て、知識人のあり方、文学観が大きく変化しつつあった時期でした。

元結(719-772)は動乱の時代を見つめ、独特な諷諭の文学を展開した文章家・詩人で、その活躍した時期は杜甫(712-770)ともほぼ重なります。

彼は大変興味深い詩文を多く残しています。杜甫を感動させた新楽府(しんがふ)「春陵行(しょうりょうこう)」、「賊退示官吏(賊退きて官吏に示す)」、顔真卿が揮毫し、涪溪(ごけい)の摩崖碑として名高い「大唐中興頌」などはその代表的作品ですが、一方で、奇怪な水と石のたたずまいをこよなく愛し、諷諭とは対極にあるような詩文も著しています。

この度は、元結の詩文を読み解きつつ、その生涯と文学についてお話しします。杜甫の「兵車行」、「石壕吏」、白居易の「売炭翁」等の読みを深める教材研究の契機としていただければ幸いです。

費用：無料

【主催】全国漢文教育学会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-4-25 湯島聖堂斯文会館内

<http://www.zenkankyo.gr.jp/>